

おこっぺ



町の花ハマナス



町の木ナナカマド

議会だより

第143号

平成28年2月15日

発行／☎098-1692 紋別郡興部町旭町 興部町議会

TEL (0158) 82-2131
FAX (0158) 82-2990

編集／議会広報特別委員会



レディースきちきち

第4回町議会定例会 P2～4

町政ここが聞きたい..... P5～7

議員活動報告..... P7

遠紋地区市町村議会議員研修会・編集後記 P8

平成27年 第4回 町議会定例会のあらまし

平成27年第4回町議会定例会は、12月11日(金)開会され、町長の行政報告、承認1件、議案14件、計15案件が審議されました。

町長行政報告

新興部中学校校舎 改築事業

改築事業

去る、10月6日に指名競争入札を行い、基本設計・用地地質調査・現況測量業務をそれぞれ発注し、工期については、基本設計業務は2月19日、用地地質調査・現況測量業務については1月20日までとなっております。今後は、基本設計の完了を受けて直ちに実施設計を進め、平成30年4月からの供用開始をめざし作業を進めますので、ご理解ご協力をお願いします。

また、新中学校の校歌についても、新中学校に相応しい新たな校歌の作成に向けて、地元出身の音楽関係者の方に作成を依頼する準備を進めます。

興部高等学校への 志願状況

11月下旬から12月上旬にかけて、興部・沙留中学校

において、それぞれ三者面談が行われました。来年3月における両中学校の卒業予定者は、合わせて36名であり、現在興部中学校では12名、沙留中学校では6名、近隣の市町村からは11名の合計29名が興部高等学校への入学を希望している。地元高校存続のため、一人でも多くの生徒が興部高等学校へ入学されるよう期待する。

低気圧及び台風による被害

10月1日からの低気圧通過に際しては、早朝より風が強くなり、午前10時には、最大風速24・4mを記録しました。また、10月8日からの台風の接近では、大雨となり、10月では、統計開始以来過去最高の24時間雨量134mmを記録し、暴風による高波・高潮も発生し、町は、災害対策連絡本部を設置し、自主避難所開設などの応急対応及び災害対策を行いました。幸い

にも人的被害はありませんでしたが、道路では法面崩壊等の大小被害が各所で、また、高波による漁網流出などの被害も発生しました。被害対策については、専決処分により予算計上し、順次、修繕・復旧工事を行っております。今後も冬期間の気象状況を注視しながら、暴風雪災害などへの備えをしていきます。

妊産婦に対する支援策

本年10月より遠軽厚生病院での出産受け入れができなくなったことにより、町内に居住する妊産婦の多くは、経産婦は広域紋別病院へ、初産婦は名寄市立総合病院に通院し、出産することになっていきます。町はこの状況を踏まえ、妊産婦が少しでも、安心して出産できる体制の整備、支援策について検討を進め、この度、両医療機関との協議により、救急要請時には、かかりつけ病院への直接救急搬送を可能とすることで合

議会の動き

平成27年11月20日以降	11月20日	興部町商工会平成27年度永年勤続従業員表彰式
	30日	議会全員協議会
	//	第3回議会改革特別委員会
	12月9日	議会運営委員会
	11日	第4回町議会定例会
	//	議会広報特別委員会
	18日	歳末特別警戒商店・料飲店等訪問
	21~22日	西紋別地区総合開発期成会要望活動
	25日	紋別地区消防組合議会定例会
	//	西紋別地区環境衛生施設組合議会定例会
	28日	興部消防団歳末特別警戒慰問
	1月4日	興部町成人式
	6日	興部消防団出初

意を頂いたところです。また、救急時においてより迅速な対応を図るため、紋別地区消防組合消防署興部支署に対し、事前に妊産婦の年齢や出産予定日などの情報を提供することとし、現在妊娠中の方をはじめ、新規に母子手帳を交付する際にも説明を行い、事前に情報登録する方法により実施するため、事務的作業を終え次第、開始したい。

「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」支給事業

消費税の引上げによる低所得者や子育て世帯への影響を緩和する目的で、昨年度に引き続き実施した「臨時福祉給付金」及び「子育て世帯臨時特例給付金」支給事業については、9月1日から12月1日までの間で申請受付を行い、12月下旬の最終支給（全3回）をもって事業完了となります。最終的な申請者数は、臨時福祉給付金が639人で申

請率85・4%、子育て世帯臨時特例給付金では421人で申請率84・2%です。

バイオガスプラント建設整備事業

6月定例会において契約の承認後、6月15日に契約締結し、受注者による詳細設計を経て、来年10月の完成に向け工事に着手しています。

興部町の交通安全運動

興部町内における交通事故死ゼロの記録が、平成27年11月2日、3000日に達したことを記念し、11月11日興部町中央公民館にて「興部町交通事故死ゼロ3000日達成記念式典」を挙行しました。交通事故死ゼロ3000日の達成は、町民の皆様をはじめ、町内自治会、各事業所・関係機関が、日頃より交通安全に真摯に取り組まれた成果であり、心より感謝いたします。今後、まずは「交通事故死ゼロ3500日」を



交通事故死ゼロ 3000 日達成記念式典

めざし、官民一体となった交通安全を展開して参りますので、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

農作物の作況

牧草は、一番牧草で6月の低温の影響により昨年とほぼ同様の10aあたり2t程度、二番牧草で昨年をやや上回る10aあたり1・5tとなり、ほぼ例年並みの収穫量となっている。飼料用トウモロコシは、ほぼ例年並みの収穫量が期待されていたが、10月の暴風によりほとんどの畑で収穫目前のトウモロコシが倒れ、大

きな収穫ロスが発生したため、最終的には10aあたり4千925kgと昨年を700kg程度下回る収量となっている。

生乳生産の状況

11月30日現在、前年同期を150・2t下回る4万9千603tとなっている。

林業関係の状況

植栽事業は、予定事業量をすべて工期内に完了し、下刈り・除間伐などの保育事業は、100%の進捗状況です。また、林業専用道宇津線開設工事1千210mは、11月30日完了した。

漁業生産の状況

全体の水揚量は、前年同期比1万1千428t減の1万403tとなり、前年同期比48%であり、主なもの、サケ定置網漁が11月30日に終漁し漁獲量は、前年比5%減の2千537tとなり、水揚額は、キロ単価の高騰の影響もあり前年

17日	式 興部町商工会 「歳末共同セー ル&スタンプラ リー」公開抽選 会
26日	議会広報特別委 員会
29日	紋別地区自衛隊 協力団体合同新 年会
2月4日	産業建設常任委 員会所管事務調 査
12日	総務社会常任委 員会所管事務調 査
18〜19日	オホーツク管内 議長会役員会・ 定期総会

比2%の増です。ホタテ漁は10月29日に終漁したものの、大型低気圧の被害で、当初1万3千tの計画を6千tに下方修正した中、計画漁獲量の3%減の5千845tとなり、底建網漁は、スルメイカ等の漁種を含めて、前年同期比54%減の830tの漁獲量です。

建設工事の発注状況

11月30日現在、土木・水道工事、建築工事とも、予定工事につきまして全て発注済となっております。

専決処分を承認した案件

○平成27年度興部町一般会計補正予算
(専決処分第2号)
補正額は、1千441万円を追加し、歳入歳出それぞれ48億2千478万円とし、原案どおり承認した。補正内容は、10月に発生した低気圧・台風被害に係る復旧等に伴う経費。

一般会計補正予算 (第3号)

今回の補正は、ネットワーク環境セキュリティ強化に伴う庁内LAN整備業務委託料の増、基金積立金の増、各工事請負費の入札執行残の減などによる補正で、1千453万3千円を追加し、歳入歳出それぞれ48億3千931万3千円とし、原案どおり可決した。

歳出の主なもの

- 財政調整基金積立金元金 1千482万4千円増
- 庁内LAN整備業務委託料 420万円増
- 図書館暖房機器改修工事 600万円増

特別会計補正予算

特別会計5会計で補正予算が提案され、原案どおり可決した。
①平成27年度興部町国民健

康保険事業特別会計補正予算 (第2号)
補正額は、721万4千円を追加し、総額7億2千731万4千円とした。

補正内容は、平成26年度分療養給付費等負担金、特定健康診査・保健指導負担金等の清算による返還金の増額。

②平成27年度興部町介護保険事業特別会計補正予算 (第3号)
補正額は、17万9千円を減額し、総額2億7千990万1千円とした。

補正内容は、委託業務の入札執行残の減額、介護予防福祉用具購入費等の増額。
③平成27年度興部町介護サービス事業特別会計補正予算 (第2号)
補正額は、7万8千円を追加し、総額3千132万円とした。

補正内容は、認知症対応型通所介護サービス施設内の備品購入費の増額。
④平成27年度興部町簡易水道事業特別会計補正予算

(第1号)
補正額は、35万円を追加し、総額2億5千176万円とした。

補正内容は、人事異動・負担率改定に伴う人件費の増額、各業務委託料・工事請負費入札執行残の減額。
⑤平成27年度公共下水道事業特別会計補正予算 (第3号)
補正額は、33万円を追加し、総額2億4千853万円とした。

補正内容は、興部・沙留下水終末処理場機器修繕料等の増額、業務委託料の入札執行残等の減額。

制定・改正された条例

○興部町新型インフルエンザ等対策本部条例の制定
○行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用等に関する条例の制定
○興部町税条例等の一部を

改正する条例の一部を改正する条例
○興部町国民健康保険条例の一部を改正する条例
○興部町介護保険条例の一部を改正する条例

その他議決された案件

- 町公共施設指定管理者の指定について、原案どおり可決した。
- ①興部町公衆浴場指定団体名
興部環境事業協同組合
- ②興部交通記念複合施設及び興部交通記念広場指定団体名
興部町商工会
- ③興部町営パークゴルフ場指定団体名
興部環境事業協同組合

町政ここが聞きたい!!

問 平成28年度より保育料無料化を実施するののか
前田義雄議員
その方向で担当部局に指示している
裕 一寿町長



前田議員 選挙公約や執行方針で28年度より保育料無料化を言っているが実施するののか。

裕町長 国の地方創生事業の中で人口問題を大きく取り上げて各市町村に対し早急に人口ビジョン、地方創生の計画を立てるよう言っている。

第2次ベビーブームの世代の方々が、まもなく出産適齢期を終えてしまうと急激に出生可能な世代の人数が減る。将来の人口を確保したいというのが国、地方併せて大きな取り組む案件で

ある。
これは、長期的な話しではなく早急に考えなければならず、保育料の無料化を考え、その方向で進めている。具体的に詰まってははいない

が地方創生の総合戦略委員会で検討しており、担当部局にも28年度から実施する方向で指示している。

前田議員 保育料という事で言われているが、保育所だけか。

裕町長 保育所、幼稚園全てを考えている。

前田議員 保育所、幼稚園両方から負担していただいている金額が1千500万で、今後「予防医療を見直す中で資金を捻出したい」という。高齢者ばかりでなく、若い人も健康になるのは良いことで、健康を推進しながら尚且つその浮かしたお金で子育て支援するという考え方は、良い考え方だなと関心している。

しかし、28年度から実施をするという事なので相当準備が進んでいなければ難し

いのでは。
裕町長 現在保育所、幼稚園に通っている親の負担が1千500万円位。私は以前から完全無償と申し上げているが、保育時間の延長という要望等もある。それらの事も含めて内部でも検討していきたい。低所得の世帯、大体収入が300万円位を基準に無償化を考えている。併せて「お産」の救急搬送についても紋別消防としては初めてだが、救急車で直接搬送する対応も考えていきたい。

国保会計や社会保険への町からの応援（繰入金）を健康推進事業の充実で少しも減らし、子育てにという信念に変わりないが、今すぐということにはならないので「子育て基金」と「福祉基金」に1億数千万円の基金があるので、スタート時には、それを使わせてもらい無料化だけでなく様々な保育業務を進めていきたい。総合戦略の問題もあるので年明けに議会にも相談する。

問 人口減少対策についてのどのように考えているか
前田義雄議員
若い世代の応援として子育て支援の体制づくりを考える
裕 一寿町長

前田議員 6月の執行方針では「基本として人口減少を止め、維持から増加へ進める事が求められている」というのが、合計特殊出生率（二人の女性が一生に産む子供の平均数）が、1・43

人。現在の人口数を維持するのに必要な出生率2・07人。この率では、人口は7割になる。我町は、平成42年には、2千388人になる計算だ。
更には生涯未婚率の上昇、

非正規雇用が中年で40%を
超える等、格差社会の拡大
の中で経済的要因で出生率
の上昇を阻む状況がある。
その中で人口の現状維持、
ましてや増やすなどという
事は難しいのではないかと
昔から総合計画的なものを
作ると、出来る上がる頃は必
ず想定人数より減っている。
シビアな数値を基に町
づくりの対応をすべきでな
いか。

裕町長 出生率が低く
て次の世代が続かないだけ
でなく、働く世代、支える
世代をいかに順序良く作っ
ていくかという事が「町づ
くり」の原点ですから、年
寄りだけがたくさんいれば
良いという事ではないし、
若い人がたくさんいれば良
いという事でもない。歪ん
だ体制を4千人でも、3千
人でもバランスの良い町が
あって、町が運営していけ
る体制づくりを真剣に考え
なくてはならないという事
で、地方創生に対して取り
組んでいきたいと思う。そ
の第1番目に子育ての応援
があるのかなと考えてい
る。

前田議員 基本的には現実
な想定に基づいた対応をし
ていくべきではないか。3
千人なら3千人の町の作り
方がある。それを考える事
が必要では。

前田議員 子育て支援の応
援合戦になる可能性が出て
きている。ただ、施策を打
たなくてはならない、手っ
取り早く「金」をまけばい
いという様なやり方ではま
ずいのではないか。しっか
り原則を踏まえた対応をし
ていく事が必要では。

裕町長 今、何をやら
なくてはならないか、中期
的には何を長期的には何を

というような中で戦略を練
っている。
大人の人間から若い世代を

問

答

**ホタテ貝等被害に関わる水産加工
業者に対する支援と水産業全体の
活性化策について**
**金利の2分の1。この問題を突破
口にどういいう事ができるのか一歩
踏み込んでみたい**



竹内議員

ホタテ被害、町

長は災害と申しましたが減産
により原料難、そして工場の
稼働低下に陥っています。道
による経済環境変化対応資金
貸付、災害復旧ですが期間が
12月31日となっており、町長
におきまして、道に期間の延
長を強く要請して頂きたい。
それは、来年、再来年と先が

見えない中で、次に資金繰り
が必要になる税金、雇い入れ
等、今後必要な時にこの制度
が終わっていないようにして
頂きたいからです。しかしこ
の制度の問題は期間以上にそ
の中身ではないでしょうか。
大変だからお金を貸しますの
で経営を安定して下さい。結
果お金を借りても逆に保証協
会と併せた金利が経営の重荷
になります。他才ホーツク沿
岸市町村では、金利の全額負
担を始め思い切った独自の支
援をしています。ただ、加工
業者にとり観点の支援では
なく、ホタテを採る漁業者、

竹内 清議員

裕 一寿町長

応援しようという中で「子
育て支援」をやっていく体
制を考えていきたい。

裕町長

今回のホタテの

その加工場で働く町民の支援
として金利の問題、そして町
独自の支援策、例えば人件費、
水道料、汚水処理費用等、何
か支援ができないか、アベノ
ミクス、いやハザマミクスの
矢を考えていただきたい。
関係については、災害という
位置づけで水産加工業者に対
し経済環境変化対応資金、12
月31日まででしたが、わたし
どもだけでなく各方面からの
要望で、半年間延ばして6月
30日まで資金の対象にする
という事で、議員の心配になら
れた決算、新年度の税金等の
対応が出来るのかと思ってい
ます。特に被害は、興部、雄
武、枝幸、浜頓別が非常に大
きく、興部以外は加工組合が
あるという事もあり、手厚い
対策をしている事は承知して
います。特に隣の雄武町は加
工業者が多いという事で早々

と大きな対応をされました。興部町には加工組合が無いという事もあり、具体的な声が聞こえてこないのが残念だと思いますが、町としてとりあえず金利の2分の1という事で、今後の動向を見極め漁組とも相談し3月までには、これ以上の方法が必要であれば対応していきたい。

竹内議員

安倍総理は11月

24日の経済財政諮問会議で最低賃金を来年以降毎年3%ずつ引き上げて、全国平均一、〇〇〇円を目指すことを表明しました。原料難、稼働率低下の地域水産加工業界にはまた大きな問題です。過去の例、2分の1にとらわれずにまた他地域に負けない支援対策を考え、その事で加工業界、水産業界、町が共に発展を目指すことで、人口減少を防ぎ、地域活性化のひとつの矢となる事を望み3月まで更なる検討を願います。次に本町の水産加工業者には組合もなく主力取扱も業者間で様々で横のつながりが薄いように思われます。しかし各業者すばら

しい特産物を製造し、興部町の名を日本中に広げています。漁業者が魚を捕り地元加工業者が付加価値をつけ、興部ブランドとして日本、世界へ流通しています。今後6次化へと進めばと考えますが、やはりそれには今ある加工場の技術、ノウハウ、そしてそこで働く町民の経験が必要で

碓町長

問題は原料を安

定的に供給できるのかも含め

て今後考えなくてはならないところですが、加工組合もない、それぞれ経営内容も違うので水産の担当者としても今まで直接お話しできる機会が無かったのが町の歴史です。今回の被害と今後の問題として機械化、雇用の問題も含め、ただお金を出せば良いという事では無く、意見を聞く場を漁組と相談の上、設置して早急にそれぞれの考えを伺わなければならぬと。また非常に早いかたちで、流通の問題も含めこの問題を突破口にどういう事ができるのか一歩踏み込み、それぞれの意見を伺い、どういう対策を町として打っていくか加工だけではなく全体の漁業関係特に水産加工については意見を伺う場を作って行きたい。

竹内議員

町の発展に頼も

しい水産会社が存在します。1次産業を2次、3次産業が支えそして次への町の活性化を進める為に、行政が進んで後押しも必要、いや大事な役割と考えます。10月の大しけで鮭定置網に多大な被害を受

けました。今後の支援も必要課題です。町として水産業強化計画を作り基盤産業である水産業の産地間競争力の強化を図り、水産業全体の経営改善と体質強化を図るため、興部町水産振興基金などを活用し、漁船の更新や改良への貸付制度などで漁業経営の一層の安定化、また水産加工につ

いては、HACCPを取得する為の設備改修にも助成するなど、支援制度の拡充により安心・安全な興部町水産加工品の供給を目指し、加工流通を含めた水産業全体の活性化を図る取り組みについても、本町における活性化策として検討を提案します。

議員活動報告

議会全員協議会

議長 山川 孝義

- 11月30日協議会を開催し次の事項について、理事者及び所管課から説明を受け、質疑を行った。
- 新興部中学校校舎改築事業について
- 新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について
- ホタテ貝被害等に係る水産加工業者に対する支援対策について

議会運営委員会

委員長 佐藤 吉春

- 12月9日委員会を開催し次の事項について審議した。
- 平成27年第4回議会定例会について

遠紋地区市町村議会 議員研修会

昨年10月22日西興部において遠紋地区議長会主催による議員研修会が開催され、遠紋1市6町1村から91人の議員、事務局職員の出席、興部町から12名が出席しました。

研修会は、北海道町村議長会事務局長村川寛海氏より「議会運営の課題と議会の活性化」についての講演があり、「議会の活性化



「が問われる様になった理由、議員の平均年齢の上昇、市町村合併などで議員数の減少による無投票の増加などや、議会は住民と向かい合っているのか、議会が形骸化していると言われないためには、議会活動の原点に立ち返って問題点の検証、一般質問では、議員が当該地方公共団体の一般事務について、執行機関に対し事実についての説明を求め又は所信を質疑すること、それらを踏まえて一般質問は上手くいつているか。常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は活発に活動しているか。議会報告会では多くの町民の皆様が関心を持って参加しているか。議会報告会の意義、議会活性化は全会一致ではだめ、拒否権をもつこと

等々議会活動の身近な点について講演がありました。国政では、地域主権が叫ばれる中、平成28年夏より18歳以上にも選挙権が与えられ、若者の行政への関心も増すと思われ、私たち地方議員も新たな町村議員像として、民主的自治制度において議会が全ての根幹であることをしっかり認識し、今後の議員活動に邁進しなければならぬと感じました。

(記…佐々木忠行議員)

編集後記

平成28年の新春を迎え、町民の皆様にはご健勝にて新年を迎えられたことに心よりお慶び申し上げます。

今年の干支は丙申です。干支と十二支の組み合わせの種類は60種類。甲子(きのえね)という組み合わせが60種類の最初。そこから年が巡って33番目が2016年の「丙申」になります。丙申の文字の意味から考えると丙(ひのえ)の文字は「明らか」という意味があります。干支は樹木の生長にたとえられますが、丙は形が明らかになつてくる頃という意味です。申は申く(うめく)の意味があります。これも語源は樹木の生長にたとえられます。申の申くは果実が成長していつて、固まっていく状態を表しています。すなわち、今までの頑張りや形になつていく年といわれています。今年は、そのような

年になることを期待しています。合わせて、悩みや大きな問題が「去る」年となることを祈ります。

(記…阿部昭一広報委員)

広報委員長	藤渡 昭博
副委員長	松川 雄一
委員	阿部 昭一
委員	佐藤 吉春
委員	竹内 清
議会事務局長	日下 学
議会事務局主査	岡崎 峰子

議会を傍聴してみませんか

○次回定例会は3月です○

手続きは、傍聴者名簿に住所・氏名を記入するだけ